

第 5 期宇治市生涯学習審議会 第 8 回審議会

会議名	第 5 期宇治市生涯学習審議会 第 8 回審議会
日時	平成 24 年 8 月 2 日 (木) 午後 3 時から午後 4 時
場所	西宇治体育館オリエンテーション室
出席者	(委員) 森川 知史 委員長、門脇 洋子 委員長職務代理、奥西 隆三 委員、迫 きよみ 委員、杉本 厚夫 委員、弓指 義弘 委員、石田 光春 委員、坂田 耕作 委員、清水 桂子 委員、原 保彦 委員、吉田 隆 委員、六嶋 由美子 委員、小宮山 恭子 委員、桑原 千幸 委員
	(事務局) 藤原 千鶴 教育部次長兼生涯学習課長兼生涯学習センター所長、梅垣 誠 西宇治体育館所長、安達 昌子 生涯学習課主幹、川瀬 章治 生涯学習課主幹、西村 比口支 生涯学習課スポーツ係長、前田 紘子 生涯学習課生涯学習係長、西田 知世 生涯学習課主事、佐野 雅俊 生涯学習課主事
	(傍聴者) なし
<p>前回の会議録について、修正なし。</p> <p>(1) 報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 24 年度京都府社会教育委員連絡協議会総会について 当日は委員 2 名、事務局 2 名の合計 4 名が出席した。総会で、理事の変更があったが、全体として大きな変更点はなかった。議事その他、如意寺の住職が「育ちあう自立社会をどうつくるか～今日を楽しみ、明日につなぐ～」という演題で講演を行った。 ・平成 24 年度山城地方社会教育委員連絡協議会総会・研修会について 当日は委員 7 名、事務局 2 名の合計 9 名が出席した。当日は、森川委員長による研修会が行われ、「聞く姿勢から始まる人間関係～社会教育委員に求められるもの～」という演題のもと、コミュニケーションについて学んだ。 役員について、今年度から森川委員長が山城地方社会教育委員連絡協議会 	

の副会長に就任された。

(委員)

森川先生の講演は素晴らしかった。日常生活で聞くことの大切さが分かった。コミュニケーションの中では、聞くことが大事で、よく会話のキャッチボールというが、会話をキャッチせずにドッジボールをしている人が見受けられる。非常に印象的な講演だった。

・第 36 回全日本中学ボウリング選手権大会について

7月23日(月)～25日(水)にキョーイチボウル宇治で第36回全日本ボウリング選手権大会が開催された。宇治で開催するのは今年で6回目であり、当日は、40都道府県から193名が参加し、宇治市からは男子2名と女子2名の計4名が参加した。優勝者は、愛知県の中学1年生の男子と滋賀県の中学2年生の女子であった。

(委員)

10年間同じ場所で開催することとなっており、選手にはアクトパル宇治に宿泊してもらっている。今年度、アクトパル宇治が全日本ボウリング協会から感謝状をいただいた。

(委員)

宇治で開催するのが6回目ということもあり、今年はスムーズに行うことができた。

(委員)

10年間、同じ場所で固定して開催する方法は、関係者も対応等に慣れてくるので画期的だと思う。

(委員)

宇治市でも地元のクラブ等はあるのか？

(委員)

会場のキョーイチボウル宇治でも、「ふれあいボウリング教室」や「宇治市ジュニアボウリングスクール」などの子ども向けの教室等を行っている。

(事務局)

なお、8月4日(土)にBS・TBS放送で決勝戦の様子を放映する予定である。

・夏休み子どもフェア(第11回)について

7月27日(金)、28日(土)に生涯学習センターで平成24年度夏休み子

第5期宇治市生涯学習審議会 第8回審議会

どもフェア（第11回）が開催された。当日は、一日100名近くのボランティアの方にコーナー出展に協力していただいた。京都文教大学・大谷大学・京都芸術高校の学生も体験コーナーを出展し、六嶋委員には源氏物語クイズと福島から本市に来られた方が民話を語るコーナーを出展していただいた。

・クールスポット取組状況について

市政だより（7月1日・15日号）にも掲載したが、家庭での電力消費を削減するためクールスポットの取り組みを実施している。西宇治公園においても、家族連れのプールの使用料の軽減を行っており、アクトパル宇治でもグラウンド・ゴルフ場の使用料と用具貸出料の軽減を行っている。グラウンド・ゴルフをされる方の多くが大人で、軽減の対象日が平日ということもあり、高齢者の方に適用しているケースが多いと聞いている。

（2）その他 時間の都合上、協議事項前に報告

・平成24年度「源氏ろまん2012」基本方針及び事業計画について

昨日、実行委員会が開催され、当審議会からも出席していただいたが、配布資料のとおり、10月18日（木）の源氏物語セミナーから始まり、宇治田楽まつり、宇治十帖スタンプラリー、第22回紫式部文学賞・市民文化賞贈呈式及び記念イベントなどが開始される。また、同時開催として源氏物語ミュージアムや歴史資料館での企画展や京都・宇治灯り絵巻、そして史跡宇治川太閤堤跡の発掘調査の公開が行われる。

・第60回日本PTA全国研究大会について

8月24日（金）に宇治市文化センターで分科会、25日には国立京都国際会館で全体会が開催される。

・平成24年度近畿地区社会教育研究大会について

9月7日（金）に神戸ポートピアホテルで開催される。宇治市からは7名が出席予定である。

・第54回全国社会教育研究大会山梨大会の開催について

10月24日～26日に山梨県甲府市総合市民会館で開催される。

・生涯学習センター2階部分の再編について

資料にあるとおり、9月議会で可決されれば、来年1月から（仮称）第3ホールを新設することで市民利用を拡大し、市体育協会の事務所を現在の第3会議室に移転することとなった。具体的には、現在の一般研修室を第3ホールとして転用するもので、この第3ホールは半分に区切って使用することも可能である。

また、現在のコンピューター研修室を一般研修室として利用する。

・グラウンド・ゴルフ場の利用再開について

会議次第には掲載していないが、9月1日からグラウンド・ゴルフ場の利用を再開する。現在、芝再生工事を完了し、再オープンを待っている状態である。8月中旬に芝の鑑定を終え、それで合格なら、9月1日から全コースの使用が可能となる。なお、この内容は、7月31日に文教福祉常任委員会に報告している。

(3) 協議事項

・生涯学習の場としてのスポーツ施設について

(委員長)

先ほど西宇治体育館内や公園を見学していただいたが、質問やお気づきの点などを幅広い視点でご意見をお願いしたい。

(委員)

昨年8月にスポーツ基本法が策定され、その中でメインになっているのが、生涯を通じてスポーツをしていく総合型地域スポーツクラブの推進である。現在、コミュニケーション不足や個別化現象が問題となっており、スポーツを通してコミュニケーションをとっていこうということが主な趣旨であるが、現状はコミュニケーションをとる場所がないことが問題である。未使用の部屋やスペースを有効活用し、談笑できるスペースを設けていくことが大切である。

ゴルフ場にはクラブハウスがあるが、他の施設にはどこにもない。ゴルフ場は、クラブハウスが中心にできており、人が集ってコミュニケーションをとることができる。

スポーツ施設では、スーツを着たサラリーマンも来るので、小さなロッカーは使い辛い。学校教育にも関連するが、昔は教室で着替えをしていた。更衣室やレストラン等が充実していないのは、日本のスポーツ文化の貧しさの表れである。総合型地域スポーツクラブを広げていくのであれば、施設自体もそのような形にしていく必要がある。

(委員)

施設が新しくなる前の黄檗公園では、敷地内でかき氷やジュースを売っていた。

(委員)

障害のある方々がトラックでラーメンを売っていた。
福祉とタイアップしてはどうか？

(事務局)

黄檗公園の件は、施設が新しくなった際に組織的に整理されて無くなったのかもしれない。市役所1階ロビーで、福祉関係の方に店を出していた

第5期宇治市生涯学習審議会 第8回審議会

だいている。また、現在ではコミュニティカフェまで広げているので、やり方しだいで進めていくことはできると思う。

(委員)

海外の更衣室は日本と規模が違う。アメリカなど、更衣室が当たり前にある環境で育った方は、日本に来たら驚かれる。

先ほどの話と関連するが、学校教育を変えていく必要があるのでは？

(委員)

学校開放が進まない理由はそこにある。控え室がないことは、スポーツの文化として貧しい。

2002年にワールドカップが京都で開催されなかった理由のひとつに、選手の控え室がある。FIFAがシャワーやミーティングルーム等が整備されていなかった西京極の競技場を競技場と認めなかったからである。

実際に生でコミュニケーションがとれる場合は、スポーツ以外ないかもしれない。

(委員)

コミュニティーセンターで食べ物の販売があればよいと思い、コミュニティーセンターと食べ物を販売していただける作業所をお願いしたところ、両者から了承をいただき、話を進めていただいている。

(委員)

施設にそういったものを求めている方は多くいらっしゃる。

(委員)

全国の体育館を調査された方が、体育館内のボールが飛んで来ないスペースにカフェを作られた。

アメリカでは、各種大会があると、全てトラックで店がやってくる。

(委員)

過去に、近畿7、8か所の市町村を見て回ったが、クラブハウスがある所はうまく運営されており、ない所はうまくいっていなかった。クラブハウスの重要性を感じた。

また、宇治には大きなスポーツ団体がいくつかあるので、年に何度か各団体が集まって宇治のスポーツについて話し合っていく必要があるのではないかと思う。市・体育協会・体育振興会連合会の3者が話し合う場も設けてはどうか。

今後は、東宇治スポーツクラブだけではなく、西側地域の総合型地域スポーツクラブも進めていかなければならない。

(委員)

第5期宇治市生涯学習審議会 第8回審議会

先日、アクトパル宇治で流しそうめんのイベントを行った。定員50名に対し、申込が600名あった。結局、参加者100名で行ったが、参加者は人と関わることを、相席することを求めてきているのではないかと思った。流しそうめんでは、ふたつの家族で協力して竹を割らなければならなかった。

クラブハウスという、人々が集まり、知らない人達が同席する、そのような場所をつくることは社会教育の一番のあり方だと思う。親しい者同士ではなく、知らない人同士がコミュニケーションをとることが大事である。

(委員)

スポーツの指導員の中でも、新しい知識を得ようせず、自分の経験のみで指導している方がいらっしゃる。発達障害の子どもと他の子どもを同じ様に指導してしまい、分からない、できないことに対し、何故できないのか、ということになっている。発達障害の子ども達の実態を理解してもらうために、近々、報道機関の方を交えて打ち合わせをし、テレビ番組で子ども達の実態を放映する話を進めている。

(委員)

コミュニケーションの世界では、犯罪や問題を起こす反社会的な人は、かえって更生しやすい、と認識している。それは、本人は社会性があり、それに反していることを分かっているからである。

それに対して、非社会的な人は、自分に社会性がないことが分からないので難しい。

スポーツというのは、そういう人達をどうするのか、という大きな役割があり、まさに社会性をどう身に付けていくのかがポイントになる。

(委員)

これから、宇治市の体育振興会連合会が中心となって、各地域で運動会が開催される。地域の体育振興会連合会から、委員の皆さんに案内状をいただいただけると行きやすいのではないかと思う。その中で、地域の方々がどうコミュニケーションをとっているのかを見ていただきたい。もし、可能であればお願いしたい。

(事務局)

一度、体育振興会連合会と連絡をとり、学区の運動会の一覧をお配りし、ご案内できるか検討させていただく。

(委員)

子どもにスポーツをさせると良いとは言われているが、誰がさせるのか。

大人がスポーツをする姿を見たら、子どもも見習うと思うので、小さい

第5期宇治市生涯学習審議会 第8回審議会

子ども連れの親がスポーツをすることができる環境を整えてほしい。

【次回の会議】

平成24年10月12日（金）15：00～ 場所：アクトパル宇治